

ぐんま広報

県対人口 : 1,956,709人
前月 : -874人
男女 : 966,139人
女 : 990,570人
世帯数 : 792,251世帯
(県移動人口調査:平成30年1月1日現在)

No.346
2018 3



子持観光いちご園(渋川市)

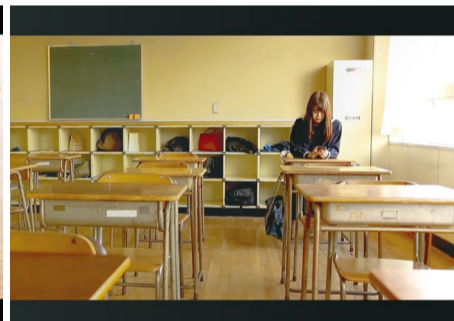
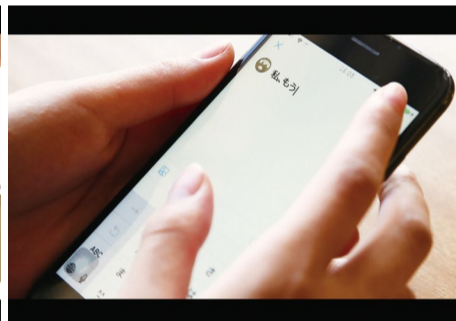
県内の味覚狩り体験の情報をお知らせしています。「ググっとぐんま公式サイト」(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会ホームページ) <http://gunma-dc.net/>

発行：群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎ 027-226-2162 FAX 027-243-3600
県ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>

特集

大切な命を守るために「違和感」

さまざまな理由で自ら命を絶つ人がいます。周りに悩んでいる人がいたらその人に寄り添って、声を掛ける、話を聴く、見守るなど、一人一人ができることから取り組むことが大切です。3月は自殺対策強化月間です。あらためて命の尊さについて考えてみませんか。



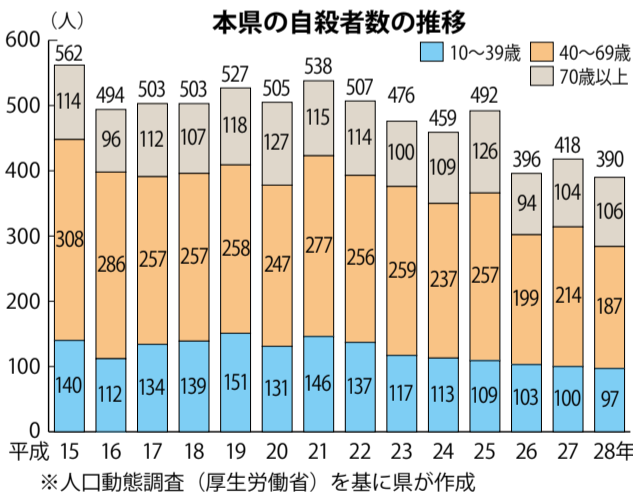
県が製作した自殺対策動画「違和感、それは気づきのはじまりです」編から

社会問題となっている自殺

国の調査によると、自殺者数は全国的に減少傾向にあるものの、28年は約2万1千人であり、大きな社会問題となっています。

本県における28年の自殺者数は390人で、交通事故による死亡者数の4・4倍です。年代別では40～60代の中高年が約5割を占めています。また自殺者数の推移を見ると、中高年の自殺は減少傾向にあります。

一方、10代では横ばいの状況が続いていて、ここ数年、自殺は10～30代の死亡原因の1位となっています。



自殺は、さまざまな悩みが原因で心理的に追い詰められ、自殺以外の選択肢が考えられない状態になった結果起こるといわれています。このようなことは、誰にでも起こり得ることです。また自殺を考えている人は、何らかのサインを発していることが多いといわれています。そのサインに気づき、悩みの原因に対して適切に対応することで、多くの自殺は防ぐこ

とができると考えられています。そのため、社会全体で自殺対策に取り組むことが重要です。

命を守るために

県は、21年度から「県自殺総合対策行動計画」に基づき、自殺対策に取り組んでいます。

26年に計画を見直し、29年4月に県自殺対策推進センターを設置しました。センターでは、若年層や自殺未遂の経験がある人などに対する支援を重点的に行っています。

また市町村が自殺対策計画を作成するための支援をしたり、相談体制の充実を図ったりしています。

さらに自殺の危険性の高い人を早期に見出し、対応を図るためのゲートキーパー養成に取り組んでいます。県や市町村が実施した講習会では、28年度末までに1万人以上が受講しました。

他にも、県は若者の自殺を防止するために動画を製作し、SNSなどを活用して情報を発信するなど、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、総合的・専門的に対策を行っています。

県が25年に行った調査では、自殺を考えたことがある県民のうち約4割の人が、家族や友人、職場の同僚などに悩みを聴いてもらうことで乗り越えられたと答えています。

このことは、身近な人の大切な命を守るゲートキーパーの存在が重要であることを示しています。

ゲートキーパーの役割や県などの自殺対策について、具体的な取り組みを紹介しています。